

宗谷南農協通信

No.18



令和5年5月26日 JA宗谷南第14回通常総会の様子

- JA宗谷南第14回通常総会
- 2023年道北B&Wショウ
- 2023年北海道B&Wショウ
- 宗谷酪農セミナーに参加しました
- えさし探求 酪農業を知る
- 結婚おめでとうございます!
- 春の廃フラ回収
- 枝幸町公共育成牧場一斉入牧
- 授精所だより
- 消毒の徹底をお願いします

J A 宗谷南第14回通常総会



5月26日 枝幸町中央コミュニティセンターにて第14回通常総会が開催され、113名（本人出席41名、委任状13名、書面出席59名）が出席しました。

令和5年5月26日、枝幸町中央コミュニティセンターにて、宗谷南農業協同組合第14回通常総会が開催されました。

始めに表彰状授与式が行われ、就農後継者として浜口学斗さん、松下賢真さん、開地希望さんの3名が登壇し、連合会を代表し、ホクレン稚内支所の清澤支所長より激励状が贈呈されました。又、就農後継者の小野寺卓也さんは、乳用牛等の購入費用として100万円の目録を向井地組合長より贈呈され、永年勤続表彰として、管理部の浜田和幸部長が表彰されました。



総会の開会挨拶に当たり向井地組合長は、「ここ2、3年、コロナ禍で経済活動もままならず、酪農情勢は厳しい状況の中ではありませんが、国、道、振興局、枝幸町から多大な支援があり、今回の剰余金の金額になったとお礼を申し上げ、又、昨年12月には緊急対策支援金と、今年の事業分量配当を合わせて約6、700万円を組合員へ戻す結果に繋げることが出来たのは、組合員の苦勞と特段なる理解があったからこそであり、改めて組合員皆様の農協運営に対する深いご理解に感謝申し上げます。令和5年度事業が始まったばかりですが、クミカン状況は昨年より厳しい状況が間違いなく来ると思いますが、酪農を取り巻く環境が悪いから離農するようなことが無いように、そのような組合員をどの様に自立させ、経営を続けてもらうかを考えるのが農協の使命であり、そして色々な指導を含めて枝幸町の生乳生産者を継続させ、健全経営をさせ、そして農協も健全経営をしていくことが我々理事、執行者に与えられた責任でありますので、一生懸命協議し農協運営を行って行きたいと思っております。」と述べました。



その後、来賓の方々より祝辞を頂き、来賓紹介、祝電を披露した後、議長選出を行い、歌登中央の藤山祐介さんを議長に選出し議案審議が始まりました。

議案は第1号「定款の一部変更」から始まり、議案第7号「役員補欠選任」まで全議案、賛成多数で可決されました。

総会閉会に当たり、向井地組合長は、議長を務めた藤山議長にお礼と、最後まで出席して頂いた来賓の方々にお礼を述べ、「本日までご提案した議案全て満場一致で承認して頂きましたこと、心から感謝申し上げます。」



議長に選任された、藤山祐介さん

決算の数字は良くやっていると終わると思うのですが、部門別収支で乳牛改良と生活店舗で営農指導事業配分後、5,200万円の赤字であります。これまでに歌登、風烈布の授精所を集約、メカニックサービスの閉鎖をするなど対応してきました。授精所は組合員数が減少しておりますが乳牛頭数は組合員数の減少と比例して減少はしていませんので、課題は多いですがあまり極端な事はできません。Aコープも大きな赤字であります。簡単に止めることは出来ませんし、順序もあります。組合員の理解が得られる範囲で続けて行きたいと思っております。

そのような状況の中、支所金融課について必要人員の確保や金融のシステム更新に相当なコストが掛かる等の理由から、以前から理事会で議論していたところではありますが、今の酪農情勢の中、組合員の経営を守り負担をいかに少なくして守っていくかを考え、一つの大きな決断として、支所金融課を令和6年2月前後に本所に統合することとしました。歌登地区の皆様には大変ご不便をお掛け致しますが、Aコープに新型のATMを設置するなど出来るだけ不便を掛けない様に最大限の努力をして行きたいと思っております。

又、役員定数変更議案を満場一致で承認頂いた事に感謝し、今後の農協運営を我々がしっかり取り組んで参りますので、皆さんも意見が有れば担当者を通じて伝えて欲しいと思います。受け入れられる事と受け入れられない事がありますが、前向きに考えて行きたいと思っております。本日は本当にありがとうございます。と述べ、総会を締めくくりました。

表彰状受領者



激励状を受取る（写真右奥から手前へ）
浜口学斗さん、松下賢真さん、開地希望さん



永年勤続表彰を受取る
浜田和幸部長



目録を受取る
小野寺卓也さん

2023年 道北B&Wショウ



令和5年5月20日、豊富町のホクレン豊富地域家畜市場で、2023年道北ブラックアンドホワイトショウが開催されました。審査員にはオールジャパンブリーダーズサービス(株)の前田直樹氏をお迎えし、宗谷地区・留萌地区から計92頭の乳牛が出品されました。枝幸町からは5戸11頭の出品があり、第3部、第7部、第9部で1位と優秀な成績を収めました。グラランドチャンピオンには第12部、苫前町の中嶋卓広さん出品「クレスタレデイス ソロモン ギャルパラ」が選ばれ、リザーブグラランドチャンピオンには第12部、豊富町の佐藤道寛さん出品の「レスポアールワールドドア ハーゲン」が選ばれました。



審査員 前田直樹氏

部	名号	順位	出品者
第2部	M. F トライユーン デルタラムダ ウーノ		関口 真也
第2部	オープンランド クイーン ス克蘭ブル		開地 希望
第2部	ウチ ロベル ゲツテイ ドルチエ フタゴ	10位	内田 喜久男
第2部	オムラ チーフ エレガンス	5位	小椋 義則
第2部	マタドーア ジャガー サラ	4位	赤坂 一弘
第3部	マタドーア ジャガー オーシヤンスカイ	1位	赤坂 一弘
第3部	ウチ ユニクル ジャコビー	7位	内田 喜久雄
第5部	オムラ AN アンドリユー	2位	小椋 義則
第7部	ゴールドチップ アンデイナイド ハーモニー	1位、B.U	小椋 義則
第8部	リステル クラツシヤブル スカイチーフ	5位	関口 真也
第9部	オムラ ブル アンドリユー	1位、B.U	小椋 義則

2023年 北海道B&Wショウ

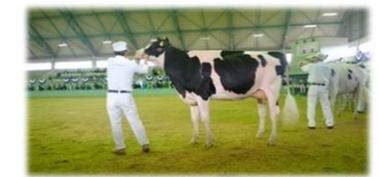
令和5年5月27日、28日にかけて、2023年北海道ブラックアンドホワイトショウが開催されました。全道から272頭の乳牛が安平町の北海道ホルスタイン共進会場に集結しました。審査員にカナダ・ケベック州の酪農家のヤン・ジェイコブス氏を迎え、厳正な審査が執り行われました。枝幸町からは5頭の出品があり、上位入賞には至りませんでしたが、どの牛も魅力あふれる素晴らしい乳牛でした。グラランドチャンピオンには第14部、網走市(有)佐藤牧場出品の「サニーウェイ アストロ マツカチエン」が選ばれ、リザーブグラランドチャンピオンには第9部、陸別町(有)編田牧場出品の「アマダ プレリー M R G メアリー」が選ばれました。



M. F トライユーン デルタラムダ ウーノ



オムラ チーフ エレガンス



ゴールドチップ アンデイナイド ハーモニー

部	名号	順位	出品者
第2部	M. F トライユーン デルタラムダ ウーノ		関口 真也
第3部	オムラ チーフ エレガンス	10位	小椋 義則
第6部	オムラ AN アンドリユー		小椋 義則
第9部	ゴールドチップ アンデイナイド ハーモニー		小椋 義則
第10部	リステル クラツシヤブル スカイチーフ	10位	関口 真也

宗谷酪農セミナーに参加しました

5月19日、酪農学園大学で宗谷酪農セミナーが開催されました。枝幸町を含め宗谷の6市町村が集まり、宗谷の酪農の特徴や、各市町村のPR等を行いました。

若手酪農家の事例紹介では、令和4年に音標に新規就農した、酪農学園大学卒業生の高橋真彰さんがWeb対談を行いました。人も牛もハッピーな経営をしたいと学生達に伝えていました。

個別相談会では、枝幸町のブースに5名が着席され酪農体験受け入れや就農支援体制、宿泊施設等の説明、枝幸町で開催される就農誘致セミナーの周知を行いました。



酪農学園大学中央館



えさし探求

酪農業を知る

6月1日、枝幸町の基幹産業の一つである酪農業の理解を深めるため、ふるさと教育推進プロジェクトによる「第2回枝幸探求」にて、枝幸高校1年生42名がファームA YNI、公共育成牧場を訪れ視察を行いました。

ファームA YNIでは、(株)アグリサポート枝幸の若山常務から施設の概要や、ロボット搾乳について、牛がどのようにに生活しているかなどの説明を受け、牛舎内を見学しました。



公共育成牧場では、村上場長から牛舎等施設やここにはどんな牛を預かっているかなどの説明を受け、施設内を視察しました。

生徒たちは恐る恐るといった感じでしたが、ひとたび子牛が「モォ」と鳴くと、生徒たちも「おお」と歓声が上がりました。

他にも「かわいい」「臭い」「大きい」など率直な感想が聞こえてきました。



結婚おめでとうございます！



令和4年3月29日に入籍された、乙忠部地区の石田晃介さん、遊さん夫妻を紹介します。二人が出会ったきっかけは、中学時代から酪農家になるのが夢だった遊さんが、大学を休学してオランダの牧場へ留学する予定だったものの、コロナ禍の影響で中止となってしまい、代わりに北海道の牧場を転々と研修していく中で、石田牧場へ訪れたのが始まりです。令和2年の春から交際をスタートし、遊さんの復学期間を経て、令和4年の春にめでたく入籍となりました。

今後の二人の目標として、「夫婦の日々の仕事や暮らしの積み重ねを、牧場や生活の風景の中に蓄積しながら、牧場と一緒に二人で歳を重ねて行けたらと思います。」と語っておりました。

春の廃プラ回収



4月24日、26日に春の廃プラ回収を行い、約90トンの廃プラが回収されました。この廃プラは、(株)苦小牧清掃社へと運ばれ固形燃料等に生まれ変わリリサイクルされます。

廃プラは適正に処理をすればリサイクル可能な資源ですので、100%のリサイクルにご協力をお願いします。又、秋も廃プラ回収を予定しておりますが、搬入時はフレコンバックから中身が出ないように開口部をしっかりと結び、スプレー等で氏名の記入を忘れずにご利用致します。

枝幸町公共育成牧場一斉入牧



5月24日に枝幸町公共育成牧場で一斉入牧が行われ、町内若手酪農家、町職員、アグリサポート職員、農協職員等が作業に当たり、およそ160頭の預託があり、健康状態等を確認し、放牧地へ放ちました。22日に舎飼から放牧地へ移動した約360頭と合わせて520頭が、放牧地でストレスなく過ごし、秋には妊娠牛となり自分の牧場へ戻ります。

授精所便り ～ 暑 熱 ～

6月に入り気温も上昇し、牛たちが暑熱ストレスを感じる時期に入ってきました。早めの暑熱対策を行って、牛のストレスを軽減しましょう。

牛は暑さに弱い

牛は暑さに弱い動物です。牛は第一胃で発酵熱を発しているため、常に湯たんぽを抱えているようなものです。そのため、気温が23℃ほどでも湿度によっては暑熱ストレスを受け始めます。

繁殖への影響

暑熱期に発生する繁殖性への影響として、卵巣機能の低下、卵子の品質の低下、母体内での精子の運動性や活性の低下、妊娠維持・着床の阻害などが挙げられます。また、暑熱ストレスは母体の栄養状態を低下させ、疾病罹患の危険性を高めます。感染症の罹患は、暑熱ストレスの影響を悪化させ、繁殖性を低下させる可能性が高くなるという悪循環に陥ります。

THI (Temperature - Humidity Index)

乳牛がどのように暑さを感じているか、よく使われる指標としてTHIがあります。THIは数値として72を超えると牛が暑熱ストレスを感じ始めるようになります。大体の目安としては下記の図のようになります。(図1)

牛舎で簡単にTHIを確認する方法として「ヒートストレスメーター」という製品が存在します。(図2)

図1

温度 ℃	相対湿度%																			
	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100
21.1	64	64	64	65	65	65	66	66	66	67	67	67	68	68	68	69	69	69	70	70
21.6	64	65	65	66	66	66	67	67	67	68	68	68	69	69	70	70	70	71	71	71
22.2	65	65	65	66	66	67	67	68	68	69	69	70	70	71	71	71	72	72	73	73
22.8	65	66	66	66	67	67	68	68	68	69	69	70	70	71	71	71	72	72	73	73
23.3	66	66	67	67	安全な領域	69	69	70	70	70	71	71	72	72	73	73	74	74	74	74
23.9	67	67	67	68	68	68	69	69	70	70	71	71	72	72	73	73	74	74	75	75
24.4	67	67	68	68	69	69	70	70	71	71	72	72	73	73	74	74	75	75	76	76
25.0	67	68	68	69	69	70	70	71	71	72	72	73	73	74	74	75	75	76	76	77
25.6	68	68	69	69	70	70	71	71	72	暑熱ストレスが始まる	76	76	77	77	78	78	79	79	80	80
26.1	68	69	69	70	70	71	71	72	73	73	74	74	75	76	76	77	77	78	78	79
26.7	69	69	70	70	71	72	72	73	73	74	75	75	76	76	77	78	78	79	79	80
27.2	69	70	70	71	72	72	73	73	74	75	75	76	77	77	78	78	79	80	80	81
27.8	69	70	71	71	72	73	73	74	75	75	76	77	77	78	79	79	80	81	81	82
28.3	70	71	71	72	73	73	74	75	75	76	77	78	78	79	80	80	81	82	82	83
28.9	70	71	72	73	73	74	75	75	76	77	78	78	79	80	81	81	82	83	83	84
29.4	71	72	72	73	74	75	75	76	77	78	78	79	80	81	81	82	83	84	84	85
30.0	71	72	73	74	74	75	76	77	78	78	79	80	81	81	82	83	84	84	85	86
30.6	72	73	73	74	75	76	77	77	78	79	80	81	81	82	83	84	85	85	86	87
31.1	72	73	74	75	76	76	77	78	79	80	81	81	82	83	84	85	86	86	87	88
31.7	73	74	75	75	76	77	78	79	80	80	81	82	83	84	85	86	86	87	88	89
32.2	73	74	75	76	77	78	79	79	80	81	82	83	84	85	86	86	87	88	89	90
32.8	74	75	76	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	86	87	88	89	90	91
33.3	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	85	86	87	88	89	90	91	92
33.9	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	危険な領域	90	91	92	93	93	94	95
34.4	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
35.0	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95
35.6	76	77	78	79	80	81	82	83	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96
36.1	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	91	92	93	94	95	96	97
36.7	77	78	79	80	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	93	94	95	96	97	98
37.2	78	79	80	81	82	83	84	85	87	88	89	90	91	92	93	94	96	97	98	99
37.8	78	79	80	82	83	84	85	86	87	88	90	91	92	93	94	95	97	98	99	100

図2



消毒の徹底をお願いします

牛の伝染病について、令和5年に入り宗谷管内でヨーネ病が5戸で確認され、又、6月には町内の酪農家でサルモネラ病が発生しました。そしてアジア諸国では口蹄疫が2019年以降継続的に発生しており、今年5月には韓国で口蹄疫の発生が確認されております。新型コロナウイルスの規制が緩和され、人や物の往来が活発化しつつある中、国内への侵入リスクが高まっている状況ですので、農場出入口に石灰消毒帯の設置と牛舎出入口に踏込消毒槽設置等、飼養衛生管理の徹底をお願い致します。

●石灰乳塗布による畜舎消毒

石灰は、アルカリ成分による殺菌作用をもっており、さらに、石灰乳として塗布することで、病原体を封じ込めることができます。塗布・乾燥後、石灰が長い期間付着し、効果が持続することも特徴です。

○資材

- ・石灰乳塗布機（手塗の場合はブラシ）
- ・ドロマイト石灰

○手順

①準備

- ・牛を移動させ、畜舎の掃除、洗浄をする。（コンセント、水槽などを保護）

②石灰乳の作成

- ・比率…ドロマイト石灰：水 = 1：2

③石灰乳の塗布

- ・塗布する場所…床、壁（床から高さ2m程度、牛の口が届くところ）

④使用器具等の整備・洗浄

- ・石灰乳が固まって機具が壊れないように注意する。

⑤乾燥

- ・天気にもよりますが、1～2日で乾燥する。

○石灰乳塗布の頻度

- ・半年～1年に1回程度実施する。

●消毒液の細菌・ウイルスに対する効果

消毒薬	細菌				ウイルス		カビ	コクシジウム	主な商品名
	一般細菌	ヨーネ菌	サルモネラ菌	芽胞菌	肺炎	下痢			
逆性せっけん	○	×	○	×	○	×	△	×	バコマ、ロンテクト、クリアキル
両性せっけん	○	×	○	×	○	×	○	×	バステン、ネオラック、キーエリア
オルソ剤	○	△	○	×	○	△	○	○	タナベゾール、ネオクレハゾール、トライキル
塩素系	○	○	○	○	○	○	○	×	クレンテ、ビルコンS（ヨーネ菌では△） サッキンゾール、スミクロール
ヨウ素系	○	○	○	○	○	○	○	×	クリンナップ、リンドレス
消石灰	○	○	○	○	○	○	○	△	
アルデヒド剤	○	○	○	○	○	○	○	×	グルタプラス、エスクカット、ヘルミン